

東調布中学校に係る改築工事基本構想・基本計画について

1 策定に至る経過

- (1) 平成28年度 改築着手校に指定
- (2) 平成29年度 支援事業者をプロポーザル選定委員会にて選定
- (3) 平成29年9月～令和2年10月 改築計画協議会開催（計9回）
- (4) 令和2年12月 基本構想・基本計画を決定

2 改築にあたっての基本理念

- (1) 教育活動の充実を図る学校づくり
- (2) 安全・安心な学校づくり
- (3) 地域力を活かした学校づくり
- (4) 人と環境にやさしい学校づくり

3 主な基本方針

- (1) 生徒の学習環境・生活環境を重視した配置計画とする。
- (2) 生徒の安全・安心に配慮した、シンプルで丈夫な校舎とする。
- (3) 学校及び周辺地域の歴史や特色を活かした計画とする。
- (4) 大人の目が行き届きやすい校舎配置とし、防犯機能を高める計画とする。
- (5) ユニバーサルデザインに基づいた計画とする。
- (6) 災害時の防災拠点機能を考慮した配置計画とする。
- (7) 地域との深いつながりを活かした学校づくりを継承し、地域との交流や地域開放をさらに高める計画とする。
- (8) 敷地周辺の良好な市街地環境と調和する緑化計画を検討するとともに、太陽光発電などエコスクールとしての整備を視野に入れた計画とする。
- (9) 住宅街にある学校として、周辺環境に配慮した配置計画とする。
- (10) 地域ニーズを把握した上で、防災機能の拡充などを検討する。
- (11) 良好な教育環境を確保した上で、他施設との複合化について検討し、地域特性や行政需要などを考慮した計画とする。

4 ゾーニングの考え方

- (1) 学習活動・地域利用に応じたゾーニングを計画し、学校・地域開放施設としての基本的な各室を置き込むこととする。
- (2) 各ゾーニング空間は相互をよく見通すことができ、行き来がしやすくまた子どもたちに行く気を起こさせる雰囲気など快適な空間を作り出す工夫をすること。
- (3) 教師・子ども・地域、相互の（学校全体での）多角的な交流を促すために、ゾーン間は有機的に連続性を持たせた計画とする。
- (4) 階段・廊下等は、法令順守、移動のための施設という位置づけだけでなく各ゾーン間を有機的に結ぶとともに、学校活動の一部の施設として計画する。

5 複合する施設機能

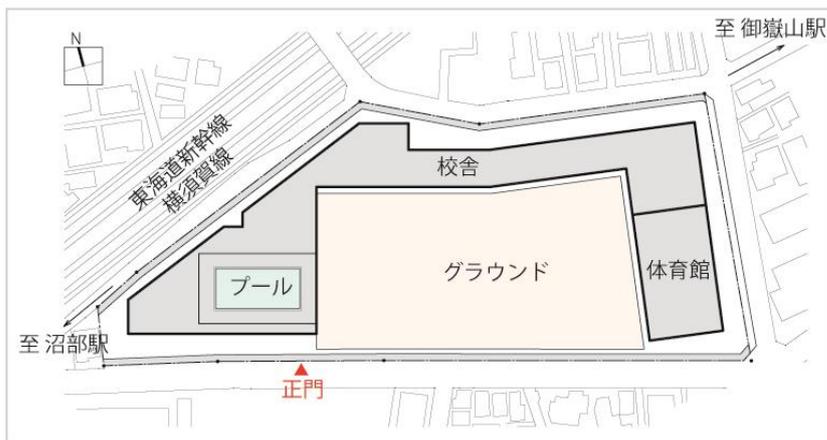
- (1) 地域図書館・・・校舎西側に配置
- (2) 地区備蓄倉庫・・・校舎北側に配置

6 現状の配置と改築後の配置案

■現状の配置図



■改築後配置案



7 想定スケジュール

	令和3年度 (2021)	4年度 (2022)	5年度 (2023)	6年度 (2024)	7年度 (2025)	8年度 (2026)	9年度 (2027)	10年度 (2028)	11年度 (2029)	12年度 (2030)	13年度 (2031)	14年度 (2032)	15年度 (2033)
工程	基本設計・実施設計			外構一部解体 仮設校舎建設		既存校舎解体 新校舎建設				仮設校舎解体 体育館解体		複合施設建設	

(今後の設計等の検討に伴い、変更する可能性があります。)